

インフォメーション



夏季点検 (平成29年8月20日)



伊万里分団

第6部 (団員)
北原 祐司
(元町)



私たち消防団員は、地域における防災リーダーとして地域に密着し、住民の安全と安心を守るという重要な役割があります。私もその一員として恥じぬように活躍していきたいと思っています。



団本部

女性部 (団員)
小杉 まりも
(内野)



自分にプラスになるかなと思いついて入団しました。出初式では初めて見た一斉放水に感動しました。女性消防団員活性化セミナーで、各地区の女性団員の活動を勉強させていただきました。戸惑ってばかりですが、いろんな事に参加し吸収していきたいです。

市消防団は、大切な人や大好きなまちを火災などの災害から守るため日夜頑張っています。現在市内には11の分団があり、980人の団員が災害現場に出動したり、災害の警戒に当たったりして地域の安全・安心のために活躍しています。ここでは、その団員の中から、各分団のホープを紹介します。

伊万里市消防団 各分団の
ホープを紹介します



出初式 (平成30年1月14日)



黒川分団

第5部 (団員)
小旗 翔悟
(真手野)



大規模災害時、テレビなどで消防団員が活動する姿をよく目にします。災害に対する不安を感じていた時に「一人で出来ないことも、二人三人なら出来ることもある」と、消防団に誘われました。自分の街は自分で守るという使命感のもと頑張っていきます。



大川内分団

第5部 (団員)
小笠原 貴之
(大川内山)



昨年入団し、慣れないことばかりで先輩方に親切丁寧に指導していただいています。広報活動やさまざまな消防団活動を通じて、地域のために頑張っていきたいと思っています。



大坪分団

第3部 (団員)
光田 朋樹
(白野)



入団してから、消防団が地域防災と関係していることを知りました。雨天時の地すべり危険箇所の警戒など、私たちの安全のために活動していることに感動と地域を守るすばらしさを感じました。私も団の一員として住民が安全で安心して暮らせるよう頑張ります。



大川分団

第3部 (団員)
丸尾 慎太郎
(立川)



平成 27 年 4 月に入団しました。地元の先輩方との消防団活動を通して、今まで以上に地域とのつながりが強くなったと感じています。まだまだ覚えることが多くありますが、地元の安全・安心のために頑張ります。



南波多分団

第4部 (団員)
井手 建男
(原屋敷)



平成 26 年 4 月に入団しました。入団当初はポンプ操作や訓練での動作など、分からないことだらけでしたが、先輩方のご指導により、何事も頑張れました。今後も日々訓練に励み地域の皆さんに頼られる消防団員になりたいと思います。



波多津分団

第1部 (団員)
松本 駿平
(浦)



消防団に入団し地元の人たちの期待の大きさを肌で感じました。近年、多種多様な大災害が起きています。『自分の街は自分たちで守る』という使命感と郷土愛の精神で消防団活動に励み頑張っていくつもりです。



東山代分団

第2部 (団員)
金子 侑矢
(長浜)



消防団に入団し、地域に貢献できるように訓練を行います。災害現場では二次災害被害にならないよう、焦らない気持ちを持ちしっかり指示を聞いて安全に行動していきます。また、少しでも火災を減らせるよう願って広報活動に取り組んでいきます。



二里分団

第3部 (団員)
浦川 崇
(川内)



防災士の免許を持っていることもあり、地域の方に勧められて入団しました。消防団の活動は多種多様で苦労もありますが、5歳の息子が消防団活動に行く私を誇らしげに見てくれることを誇りに持ち、子供たちに夢を持たせられるように頑張ります。



松浦分団

第3部 (団員)
古賀 和成
(村分)



私が消防団への入団を決めた理由は、早く地域の方に貢献したいからです。災害現場でも活躍できるように、先輩方から指導いただきながら、訓練などを頑張っていきます。



山代分団

第4部 (団員)
塚原 嘉一
(浦之崎)



消防団にはさまざまな活動があり、住民の皆さんに「お疲れさま」と声をかけていただいた時などにやりがいを感じます。いつどこで起こるか分からない災害に備えるためには、消防団の存在意義を団員一人一人が考えて団結し、日々活動することが大切です。

消防団にあなただの『力』を

市消防団の団員は普段はさまざまな仕事を持ちながら、災害活動や火災予防広報など伊万里市の安全・安心のまちづくりのため活動を行っています。

自分たちの地域の安全を守り、安心して暮らすためには消防団の活動が欠かせません。あなたの力が必要です。みなさんが安心して暮らせる伊万里市を目指して消防団に入団しませんか。

● 問合せ先 消防調整課消防団係

☎ 23116



議会報告

平成30年度第1回定例会

平成30年伊万里市議会第1回定例会が、3月1日から22日まで開かれました。今回は、平成30年度予算議案10件のほか、条例議案17件、一般議案5件、平成29年度補正予算議案7件、諮問1件、議会議案1件の審議、また、一般市政に対する質問などが行われました。

審議の結果、提出議案などは原案のとおり可決、同意、異議ない旨答申されました。主な内容は次のとおりです。

条例議案

総合計画策定条例

市の総合計画の策定などについて必要な事項を定めるため、条例を制定したものです。

介護保険条例の一部を改正する条例

平成30年度から32年度までの介護保険料率（現行と同率）を定めるとともに、被保険者の資格などについての調査対象を拡大するため、改正したものです。

個人情報保護条例等の一部を改正する条例

行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、個人情報の定義を明確にするなど、関係する条例を改正したものです。

ビジネス支援オフィス条例の一部を改正する条例

事務系企業の誘致による雇用の拡大や地域の産業の振興を目的として、新たなビジネス支援オフィスを設置するため、改正したものです。



空家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例

危険な状態にある空家等に対して、市が所有者などに代わって必要最小限度の緊急安全措置がとれるよう、改正したものです。

一般議案

公平委員会委員の選任

委員 吉富伸克氏の任期が本年5月4日で満了することに伴い、同氏を再任するものです。

固定資産評価審査委員会委員の選任

委員 井手光路氏、増崎幸一郎氏および原口弘氏の任期がそれぞれ本年3月31日で満了することに伴い、増崎氏を再任するとともに、新たに池田恵氏および諸石秀子氏を選任したものです。

予算議案

平成30年度一般会計予算

本年が市長改選の年であるため、当初予算では、主に義務的・経常的経費を計上し、政策的経費については、必要最小限の経費を計上したものです。予算総額は、229億7500万円です。

※歳出予算の主なもの

▽防災行政無線施設整備事業 1億1046万円

▽市民センター改修事業 5916万円

平成29年度一般会計補正予算（第10号）

一般会計の歳入歳出予算に3億9439万5000円を追加し、補正後の予算総額は、273億413万4000円となりました。

※歳出補正の主なもの

▽障害者介護・訓練等給付事業 7222万円

諮問

人権擁護委員候補者の推薦

委員 岩永孝雄氏の任期が本年6月30日で満了することに伴い、新たに松尾孝幸氏を推薦したものです。

議会議案

市政に係る基本的な計画の策定等の手続きに関する条例の一部を改正する条例

市が策定する総合計画について、議会の議決を経るものとするため、条例を改正したものです。

一般市政に対する質問

一般質問が3日間行われ、市政に関する諸問題について15人の議員から36項目の質問が行われました。

委員会報告

3常任委員会に付託された議案は、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定されました。また、2特別委員会から開催結果が報告されました。

伊万里市職員の人 事 異 動



→ 辞令交付式で宣誓する新規採用職員

◆退職者

平成29年度中の退職者 16人
 ▼定年退職10人、早期退職1人、普通退職5人
 ※職種内訳：事務職9人、技術職2人、保育士3人、幼稚園教諭1人、社会福祉士1人

◆採用職員

新規採用職員 17人
 ※職種内訳：事務職10人、技術職1人、幼稚園教諭・保育士3人、保健師3人

◆3月31日付け退職

古賀恭二、丸田俊道、香月庄司、吉永康雄、池田武彦、中島康子、弘川幸伸、山本美子、池田初美、久浦克己、井元須万子、吉富大輔

◆4月1日付け人事異動

異動者数 82人
 ※表記中の省略

(兼) 兼務、(併) 併任

【副市長】

▽副市長 (兼) 総務部長事務取扱 (兼) 建設部長事務取扱
 江頭興宣

【部長級 5人】

▽(併) 総務部理事 (出向)
 伊万里・有田消防組合 角永慎二郎
 ▼水道部長 (兼) 管理課長事務取扱 (兼) 工務課長事務取扱 (兼) おいしい水プロジェクト室長事務取扱 中里憲二
 ▼議会事務局長 古賀均
 ▼総務部副部長 (兼) 契約監理課長 橋口直紹
 ▼政策経営部副部長 (兼) 伊万里湾総合開発・国道対策課長 山口貴弘

【課長級 4人】

▽(併) 総務部消防調整課長 (出向) 伊万里・有田消防組合 松尾博利
 ▼政策経営部伊万里暮らし応援課長 (兼) 婚活応

援係長事務取扱 多久島功
 ▼水道部工業用水道課長 草場敏彦 (出向) 佐賀県西部広域環境組合 杵嶋尚武

【副課長級 10人】

▽総務部税務課収納対策室長 (兼) 収納対策室係長事務取扱 木寺洋司
 ▼政策経営部企画政策課行財政改革推進室長 (兼) 行財政改革推進室係長 松尾貞裕
 ▼市民部福祉課副課長 (兼) 福祉総務係長 河上洋恵
 ▼市民部伊万里保育園長 川崎久美子
 ▼市民部大坪保育園長 前田明美
 ▼市民部牧島保育園長 二股民子
 ▼市民部松浦保育園長 井手紀美子
 ▼市民部南波多保育園長 緒方寛子
 ▼建設部土木管理課副課長 (兼) 管理係長 峯憲和
 ▼教育委員会体育保健課学校給食センター所長 金子健一

【係長級 13人】

▽総務部総務課行政係長 原利彦
 ▼政策経営部伊万里湾総合開発・国道対策課港湾振興係長 (兼) 国道整備促進係長 (兼) 国際戦略室副主幹 (併) 土地開発公社 濱田智史
 ▼市民部伊万里保育園副主幹 前田由利子
 ▼市民部牧島保育園主任保育士 弘川智子
 ▼市民部南波多保育園主任保育士 山口仁美
 ▼産業部企業誘致・

商工振興課商工振興係長 (兼) 就活支援室係長 (兼) 政策経営部国際戦略室副主幹 古賀修
 ▼水道部管理課管理係長 末石雅彦
 ▼監査委員事務局係長 貞松智恵
 ▼教育委員会教育総務課総務企画係長 (併) 政策経営部企画政策課総合教育推進係副主幹 佐々木俊明
 ▼教育委員会黒川幼稚園教務主任 地原直美
 ▼教育委員会牧島公民館副館長 (併) 市民部市民課牧島分室係長 小國八郎 (出向) 佐賀県後期高齢者医療広域連合 前田武俊 (出向) 伊万里・有田医療福祉組合 松尾大輔

【主査級 2人】

▽市民部 (主査) 山下勝彦
 ▼建設部 (主査) 杵嶋威晃

【二般職員 31人】

▽総務部総務課付 (佐賀県派遣) 西浩一郎
 ▼総務部総務課付 (地方公共団体情報システム機構派遣) 小旗慎二
 ▼総務部 三原隆広、高森隆人、原保浩 (併) 総務部 川原浩二、前田伸吾、水田仁志、西尾義孝、永田大成、田代浩之、樋渡裕司、松尾大介、久保田隆慈、前田健太、山口結也
 ▼市民部伊万里保育園 辻育子、中尾和香子
 ▼市民部大坪保育園 大西朱美
 ▼市民部

大川保育園 諸石陽子、樋渡千恵
 ▼市民部南波多保育園 野田真記子、崎田みずき、柴藤舞
 ▼教育委員会 (併) 市民部 古岡理絵
 ▼教育委員会 前田聖 (出向) 伊万里・有田地区医療福祉組合 富岡尚子
 ▼伊万里・有田消防組合 池田匡利、中島陵似、平山雄大、中野陸高

【新規採用職員 17人】

▽総務部 池田明広、黒田晃平
 ▼市民部 前田舞、前田岬、永田佳子、小野佳奈子、坂本桃香、野田瑞希、力武真紀
 ▼市民部伊万里保育園 古川沙織
 ▼市民部大川保育園 古川絵里子
 ▼建設部 前田憲士朗
 ▼教育委員会 山崎高宏
 ▼教育委員会 黒川幼稚園 中山美和
 ▼教育委員会 (併) 総務部 宝蔵寺亮、吉田郁人、畠山雅史

【再任用職員 10人】

▽(総務部) 香月庄司
 ▼(市民部) 池田初美、山本美子
 ▼(会計管理者) 古賀恭二
 ▼(教育委員会) 井元須万子、久浦克己
 ▼(教育委員会) (併) 道、池田武彦、吉永康雄

●問合先

総務課職員係
 ☎2127

第4次伊万里市男女協働参画基本計画

“あなたとわたしのきらめきプランⅣ”を策定しました

● 問合せ先 男女協働推進課男女協働推進係 (☎☎2115)

市は、伊万里市男女協働参画を推進する条例に掲げる基本理念のもとに、市民一人一人が自立し、性別にかかわらず社会のあらゆる分野に平等に参画して責任を分かち合い、その個性と能力を發揮することができる男女協働参画社会の実現を目指しています。

これまで推進してきた第3次伊万里市男女協働参画基本計画の趣旨を継承、発展させ、さらに推進していくため、第4次伊万里市男女協働参画基本計画“あなたとわたしのきらめきプランⅣ”を策定しました。計画の中から、基本方向と主な成果目標をお知らせします。

基本方向Ⅰ 男女協働参画意識が浸透したまちづくり

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」の考え方に対して、市民 19.2%、中学生 40.3%、高校生 35.3%が肯定しています。固定的な性別役割分担意識がまだ根強いことがわかります。固定的な性別役割分担意識を見直しましょう。



性別で役割や行動を決めつけず、誰もが自分の生き方を自由に選択できるようにしましょう。

【主な成果目標】

指 標	基準値 2016 (平成 28) 年度	目標値 2022 年度
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に賛成する市民の割合	19.2%	15% 以下

基本方向Ⅱ 男女が認め合い、ともに活躍する社会づくり

政策や方針決定過程に男女双方の意見を活かし、特に、防災分野では、男女協働参画の視点を取り入れた取組が重要です。



女性のみならず、役員選出のときは「私にはできない」と考えず、チャンスととらえましょう。

【主な成果目標】

指 標	基準値 2016 (平成 28) 年度	目標値 2022 年度
男女協働参画に関する講座を開催した町(地区)数	7町(地区)	全13町(地区)

基本方向Ⅲ 男女がともに働きやすい環境づくり

男女が対等に働き、認め合う職場環境をつくりましょう。



家事・育児・介護など、家族で分担し支え合いましょう。



【主な成果目標】

指 標	基準値 2016 (平成 28) 年度	目標値 2022 年度
男性の1日の家事時間	1時間 20分	1時間 30分以上
男性の1日の育児時間	1時間 19分	1時間 30分以上

基本方向Ⅳ 心豊かで健康な人生を送るための環境づくり

一人一人の人権を尊重し、だれもが自分らしく生きられるようにしましょう。



心と体の健康を大切にしましょう。男女の身体の特徴の違いを理解し、認め合ひましょう。

【主な成果目標】

指 標	基準値 2016 (平成 28) 年度	目標値 2022 年度
性的少数者に関して社会的な意識が高まっていると思う人の割合	—	75%

基本方向Ⅴ 男女間のあらゆる暴力の根絶

DV や性暴力に関する理解を深めましょう。困っている人や悩んでいる人を相談窓口につなげましょう。



【主な成果目標】

指 標	基準値 2016 (平成 28) 年度	目標値 2022 年度
女性相談を知っている割合	16.5%	20%

イラストは田中ひとみさん（波多津町）にご協力いただきました。

男女協働参画フォーラム

ひとりひとりを大切にした

防災対策の



- 午後1時30分 開会・あいさつ
午後1時35分 オープニング
- いまりプラザによる防災朗読劇上演
『避難所運営になぜ、男女双方の視点が
必要か？一緒に考えよう』
 - 伊万里市消防団女性部による活動報告
『あなたのまちの消防団』
- 午後2時～ 講 演
午後3時30分 閉 会

日 時 5月26日(土)
午後1時30分～
3時30分

場 所 市民図書館ホール

定 員 130人(先着順)

講 演 男女共同参画の視点で見る熊本地震
～今、私たちにできることは～
講 師：藤井宥貴子さん



(くまもと県民交流館パレア館長)

親子席について

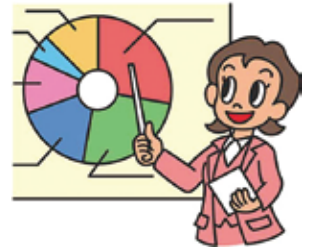
親子席(未就学児対象)を用意していますので、申し込み時に伝えてください。親子席は先着8組となります。小学生以上は一緒に講演会場へ入場してください。

申込について

電話・ファックス・メールで、5月16日(水)までに申し込んでください。
●申込先 男女協働推進課男女協働推進係 (☎2115・FAX 27213)
※メールアドレス danjo@city.imari.lg.jp

利用しませんか まちづくり出前講座

市は、皆さんの身近な生活に関わる行政情報を提供し、市民参加によるまちづくりをめざすため『まちづくり出前講座』を開催しています。平成 29 年度は、開催回数 198 回、延べ 7,100 人の参加がありました。市職員が皆さんのもとへ出向き、知りたいことや聞きたいことなどについて話をします。希望する場合は、下記のメニュー表から講座名を選んで申し込んでください。



- **対象** 市内に在住、通勤または通学しているおおよそ 10 人以上の団体
- **時間** 午前9時から午後9時までの間で、2時間以内
※土・日曜日、祝日を希望する場合は、担当課と調整後に決定します。
- **場所** 市内のみ（受講場所は申込者で確保してください）
- **講師料** 無料
- **申込方法** 受講予定日の2週間前までに、申込書をまちづくり課あてに郵送または直接提出してください。ファックスやメールでも受け付けています。
- ※申込書とメニュー表は、まちづくり課、各町（地区）公民館、市民センター、生涯学習センター、市民図書館、市民交流プラザに備え付けています。また、市のホームページからもダウンロードできます。
- **申込・問合せ** まちづくり課まちづくり推進係（☎2114・FAX 27213）
メールアドレス machizukuri@city.imari.lg.jp

◆ 平成 30 年度 まちづくり出前講座メニュー表 ◆

ジャンル	番号	講座名
市 政	1	市政の動きについて（市長講話）
	2	行政改革について
	3	第5次伊万里市総合計画について
	4	伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
	5	伊万里湾の開発について
	6	伊万里市の国際交流について
	7	考えてみましょう！『男女協働参画』
	8	食のまちづくりについて
	9	市民との協働によるまちづくり（地域の元気推進事業を含む）
	10	ふるさと納税制度について
	11	伊万里市の家計簿（財政）
	12	予算のみかた ～税金の使われ方から財政状況まで～
まち づ くり	13	伊万里市の公共交通について
	14	地籍調査の話
	15	道路の話
	16	都市計画の話
	17	下水道の話
福 祉 ・ 健 康	18	高齢者福祉について
	19	介護保険について
	20	認知症サポーター養成講座
	21	介護予防について
	22	地域包括ケアシステムについて
	23	国民健康保険について
	24	後期高齢者医療制度について
	25	生活習慣病予防について
	26	健康づくりについて
	27	知っておきたい子どもの病気と手当
	28	障害者総合支援法について
	29	伊万里市の子育て支援の取り組みについて
	30	生活保護制度について
	31	伊万里市の婚活推進事業について

ジャンル	番号	講座名
く ら し	32	伊万里市の防災について
	33	木造住宅の耐震化について
	34	国民年金について
	35	市税について
	36	消費者トラブル防止について
	37	水道の話
	38	防火教室
環 境	39	救急教室
	40	家庭でできる地球温暖化対策
	41	ごみの分別とリサイクルについて
産 業 ・ 観 光	42	犬・ねこの飼い方について
	43	伊万里市の環境の状況
	44	伊万里市の農業について
	45	伊万里市の林業・水産業について
	46	伊万里市の商工業について
	47	伊万里市の観光について
	48	農業者年金について
	49	農地の転用、売買、貸借について
教 育 ・ 文 化 ・ ス ポ ー ツ	50	子どもの生きる力について
	51	家庭教育について
	52	青少年の育成について
	53	人権・同和問題について
	54	伊万里の文化財
	55	伊万里の史跡めぐり
	56	伊万里の資料館見学ガイド
	57	図書館のデータベース活用方法
	58	家読について
	59	絵本の見せ方、読み方、選び方
	60	いきいき脳活！音読教室
	61	新体力テスト及びニュースポーツの指導
選 挙	62	明るい選挙について
そ の 他	63	その他（希望講座を相談してください）

※この講座は、苦情や陳情の場ではありません。

助成します『人間ドック・脳ドック検診』

日帰り人間ドック・脳ドックの受診費用を助成します。通常の半額程度の負担で受診できますので利用してください。

●対象

◆市国民健康保険加入者

- ▽受診時に40歳以上74歳以下の人（入院療養中の人は除く）
- ▽国民健康保険税の滞納がない人
- ▽4月以降に人間ドック・脳ドック・特定健診を受診していない人

◆市内在住の県後期高齢者医療保険加入者

- ▽入院療養中でない人
- ▽後期高齢者医療保険料の滞納がない人
- ▽4月以降に人間ドック・脳ドック・長寿（特定）健診を受診していない人

●注意事項

- ▽必ず特定健診・長寿健診と一緒に受診してください。
- ▽どちらも人数制限がありません。早めに申し込んでください。
- ▽申し込みの際は、国民健康保険または後期高齢者医療の被保険者証と、印鑑を持参してください。



●受付開始日 5月1日（火）
●申込・問合先
長寿社会課医療保険係
☎2153

	日帰り人間ドック	脳ドック
自己負担額	11,780円	12,780円
指定医療機関	伊万里有田共立病院、伊万里松浦病院、隅田病院、西田病院、前田病院、山元記念病院	伊万里有田共立病院、西田病院、山元記念病院
検査項目	血液検査、尿検査、心電図など15項目	頭部MRI、血液検査、尿検査など11項目

第7期計画期間の介護保険料について

介護保険制度では3年ごとに介護保険事業計画を策定し、65歳以上の人の介護保険料を定めています。今回、平成30年度から32年度までを計画期間とする第7期介護保険事業計画を策定し、介護保険料基準額を据え置くこととしました。平成30年度の年間保険料は、7月に郵送で通知します。

●問合先

長寿社会課介護給付係
☎2154

◆第7期介護保険料の額（平成30～32年度） ※第6期と同額

区分	対象者	保険料年額（月額）
第1段階	世帯全員が 市民税非課税	高齢福祉年金の受給者、生活保護の受給者、本人の合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の人
第2段階		本人の合計所得金額+課税年金収入額が80万円超120万円以下の人
第3段階		本人の合計所得金額+課税年金収入額が120万円超の人
第4段階	本人が市民税非課税かつ世帯内誰かが市民税課税	本人の合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の人
第5段階【基準額】		本人の合計所得金額+課税年金収入額が80万円超の人
第6段階	本人が市民税課税	合計所得金額が120万円未満の人
第7段階		合計所得金額が120万円以上200万円未満の人
第8段階		合計所得金額が200万円以上300万円未満の人
第9段階		合計所得金額が300万円以上の人

有害鳥獣駆除にご協力ください

農協と市では、イノシシやカラスなどの有害鳥獣による農作物の被害を軽減するため、伊万里市猟友会の協力のもと、わなや銃器による駆除を行います。皆様のご理解とご協力をお願いします。

●駆除期間

5月1日（火）～平成31年2月28日（木）

●注意点

▽有害鳥獣を駆除するためには、狩猟免許や市からの許可が必要です。免許や許可なく、わなを仕掛けた場合は違法行為となります。

▽野山に入るときは、目立つ服装をしたりラジオを携帯したりするなど、人がいることが分かるようにしてください。

●問合先

農業振興課営農流通係
☎22557
農山漁村整備課林務水産係
☎22591
JA伊万里営農振興課
☎25560



狩猟免許の 新規取得者を支援

市では、新規に狩猟免許を取得し、イノシシやカラスなどの有害鳥獣駆除に最低3年以上取り組む人に対し、狩猟免許取得経費の一部を助成します。

◆狩猟免許試験補助制度

●対象者

平成30年4月1日現在で65歳以下の入

●助成金額

▽わな猟 上限5万円

▽銃 猟 上限6万円

●申込期限 7月6日(金)

●申込・問合せ

農業振興課営農流通係

(☎) 23 2557

◆狩猟免許試験

●試験日・試験会場

▽7月18日(水) 唐津市

▽8月1日(水) 佐賀市

▽8月5日(日) 佐賀市

▽平成31年1月27日(日) 佐賀市

※狩猟免許試験についての詳細は、佐賀県のホームページをご覧ください。

●申込期限

各試験日の3週間前まで

●申込先 伊万里市猟友会

(☎) 23 8837

県立伊万里実業高等学校が開校します

平成31年4月に、伊万里農林高等学校と伊万里商業高等学校が再編統合され、新しく『伊万里実業高等学校』が開校します。新高校は、2つの校舎(校地)を利用する『校舎制』の学校です。

●問合せ

伊万里農林高等学校

(☎) 23 4138

伊万里商業高等学校

(☎) 23 5191

県教育庁教育振興課

(☎) 0952 257424

《学科・募集定員・設置場所》

【全日制課程】 計 200 人

●農業科 生物科学科 40 人、森林環境科 40 人、フードビジネス科 40 人

●商業科 商業科 40 人、情報処理科 40 人

【定時制課程】 計 40 人

●商業科 商業科 40 人

校 地	農林キャンパス (再編前の伊万里農林高等学校校地)	商業キャンパス (再編前の伊万里商業高等学校校地)
学 科	【全日制課程】 ・生物科学科 ・森林環境科 ・フードビジネス科(2・3年)	【全日制課程】 ・商業科 ・情報処理科 ・フードビジネス科(1年) 【定時制課程】 ・商業科

※フードビジネス科は、農業科(食品系)と商業科の両方が学べる6次産業化に対応した学科として設置します。1年生は商業キャンパス、2・3年生は農林キャンパスで学習します。

※伊万里農林高等学校は平成33年3月、伊万里商業高等学校の全日制課程は平成33年3月、定時制課程は平成34年3月まで存続します。

※伊万里農林高等学校および伊万里商業高等学校の平成30年度までの入学者は、それぞれの高等学校を卒業することになります。

松浦川洪水情報のプッシュ型配信を開始

5月1日から、松浦川(川西橋)が氾濫危険水位に達して氾濫危険情報が発表されたときや、氾濫発生情報が発表されたとき、緊急速報メールを活用して、発信者側から一方的に、皆さんの携帯電話などに情報が配信されます。

※携帯電話などの電源が入っていない場合や通話中などの場合は受信できません。また、対応していない機種については、各携帯電話事業者のホームページで確認してください。

●問合せ

武雄河川事務所

(☎) 0954 235151

土木管理課管理係

(☎) 23 2484

【配信文例(見本)】

(件名)

河川氾濫のおそれ

(本文)

松浦川の川西橋(伊万里市)付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。

堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。

防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとって下さい。

本通知は、九州地方整備局より浸水のおそれのある市町に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。

(国土交通省)



伊万里商工会議所女性会が 新一年生に鉛筆削り器を贈呈

未来を担う小学校の新年生に活用してもらおうと、3月20日、伊万里商工会議所女性会の小松尚子会長ほか3人が市役所を訪れ、市教育委員会に鉛筆削り器を贈呈しました。女性会が用意したのは、市内の小学一年生全クラスに各1個、全部で23個の鉛筆削り器。東日本大震災後に寄付活動をする中で、伊万里の子どもたちの役にも立ちたいと思いい、平成25年から贈呈を続けています。



↑森教育長に鉛筆削り器を手渡す小松会長（左）
（写真は伊万里ケーブルテレビジョン株式会社提供）

黒木建設株式会社が 市民会館の客席カバーを贈呈



黒木建設株式会社が市民会館の客席カバーを贈呈する様子
市長（左）に目録を渡す黒木社長

黒木建設株式会社が、市民会館の客席用にと市に座席カバーを贈り、3月28日、市役所で贈呈式がありました。昨年度、会館ホールの天井改修工事を請け負った同社は、長年の使用による布製座席カバーの劣化を知り、今回、320席分を新調。黒木祐一郎社長は、「来年の黒木建設創立百周年に向けて、何か市民の役に立つことを考えた。」と贈呈の理由を話しました。

市ビジネス支援オフィスビルが竣工

平成29年9月から立花町西田蔵寺に建設されていた、市ビジネス支援オフィスビルの完成を祝い、3月28日、同ビル内で竣工式がありました。このビルは、県の『さが創生オフィススペース創出事業』を活用して株式会社朝日興産が建設したもので、市が2・3階の9室を賃借し、事務系企業を誘致するための拠点オフィスとして運用します。地元で事務系の企業が少ないうえに若者が市外に流出している現状に、歯止めをかける企業誘致が期待されます。



↑中央交番付近の絶好のロケーションに建つ市ビジネス支援オフィスビルの外観

市観光アドバイザーに JALの小田隆司さん



↑市観光アドバイザーに就任した小田さん（市観光協会で4月17日撮影）

日本航空株式会社（JAL）監査部マネジャーの小田隆司さんが市観光アドバイザーに就任し、4月2日、市から委嘱状が交付されました。本市とJALは、観光の振興や人材の育成などを通じた地域の活性化に関する包括連携協定を締結しています。平成28年に就任した三輪宗一郎さんと共に、JALグループからの観光アドバイザーは2人体制へと強化されました。また、小田さんは、市観光協会の事務局長にも就任しました。

ご寄付

ありがとうございました

次の方からご寄付をいただきました。

厚くお礼申し上げます。

※3月1日～31日受付分

（敬称略、希望者のみ掲載）

▼歯ブラシ 500本

伊万里・有田地区歯科医師会

▼油絵 1点

野口 榮一（二里町川東）

▼鉛筆削り器 23個

伊万里商工会議所女性会

▼市民会館大ホール客席用カ

バー 320席分

黒木建設株式会社

《甲子園プロジェクトの支援に関する事業》

▼百万円

川口喜三郎（武雄市）



▼は篤志寄付です。